第39回 ひだか樹魂まつり

第39回ひだか樹魂まつりが、24日と25日の両日、日高山岳ビラパークで開催されました。

当日は雨が時折強く降り、あいにくのコンディションとなりましたが、午後4時30分から恒例の「観光踊りパレード」が行われ、華やかに幕を明けました。

前夜祭では、木遣り保存会による「木遣り」と日高山岳太鼓が共演。壮大な太鼓の響きと「木遣り歌」、に乗せて、重さ1・5トンもある巨大な丸太を操る職人たちに多くの観客が見入り、大きな拍手を贈っていました。

また、ジャズグループ「ｊａｊａ」の演奏会がステージで行われました。

前夜祭の締めくくりは恒例の花火大会が開催され、夜空に大輪の花火が開くと大きな歓声が上がりました。

26日の本祭は、門別沙乱舞連、平取義経なるこ会、ひだか樹魂舞によるよさこい競演で開幕しました。

丸太をのこぎりで切り落とすタイムを競う「木こりさん競走」や、1チーム5人で重量約３００kgの丸太を運ぶ早さを競う「流送レース」、北海道大学の留学生によるお国紹介や、かんばやしまなぶさんのステージ、陸上自衛隊第7音楽隊演奏会があり、大勢の観客を楽しませました。

まつりの最後は「もちまき」が行われ、最後まで笑顔が溢れました。










日高山脈に棲むという
伝説の竜を守護神に
樹々に感謝を捧げる。